

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスかみふうせんディオ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月10日		令和8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日		令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な専門職の職員配置を行うことで、子どもの特性を十分に理解し、それぞれに応じた支援などが行える。	さまざまな専門職が在籍しているため、色々な視点から児童をみることができている。計画書作成時にもあらゆる視点からの会議を行い、よりよい計画を立案できるよう努めている。	活動においても、幅広く行えるように意見を出し合う場を設けていく。
2	集団での活動を設けることによって社会性を身につけられるよう支援している。	小学生から高校生までの利用者さんが在籍している。年齢が幅広いので上級生と下級生でペアを組んだり、全員で集団活動をする時間を設けている。集団で活動する中で協調性や社会性を培うことを目的として取り組んでいる。	来年度も引き続き行っていくにあたって、取り組みを充実させるための情報収集や活動の幅を拡げていく。
3	個別課題の時間を設けることで、個々のニーズに寄り添った課題設定をしている。	保護者へのニーズの聞き取りや苦手分野の見立てで課題を選定します。個々にあった物を用意することで、アプローチを的確に行うことができている。また、プリントをしようすることで視覚的にも達成感を味わえるように支援している。	個別課題に使用する教材を増やす。専門職からのアドバイスや助言を受けることで専門的にアプローチを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少ない。	交流できる機会が少ない為、保護者同士の交流の発展に繋がっていない。	交流できる機会を増やしていく必要がある。これまでに実施してきた夏祭りへの参加の促しを強化し、できるだけ多くの方が参加できるよう期間設定の見直し。参加できるイベント提供の見直しを行う。
2	日々の療育記録をHUGの電子ツールを用いて発信を行っているが、既読が少なく記録を確認されていない保護者が一定数居られることが想定される。	保護者にHUGの記録を確認したら既読設定にしてもらうことの周知不足だと考える。	定期的に読んでもらうことをお便りで依頼し、記録を確認して頂けるよう周知徹底を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスかみふうせんディオ

公表日 2026年2月1日

利用児童数 2026年2月1日

回収数 27(兄弟は合わせて1解答)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92.59%	3.70%	0%	3.70%		契約の際に施設説明を行い、これからも児童生徒が安心安全に活動できるスペースを確保維持できるよう取り組みます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	85.18%	3.70%	3.70%	7.40%	子どもの話を聞き、知り合いの事業所に比べて少ないと感じています。	常に職員のスキルアップや成長できる環境づくりに努め、専門性についても継続して職員配置できるよう努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	77.77%	14.81%	0%	7.40%		入口に段差が2段ありバリアフリー解消が困難な状況ですが、室内の段差については解消しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96.29%	3.70%	0%	0%		今後も手指衛生などの衛生面、感染症対策の取り組みを継続し、安心安全な活動が行えるよう取り組んで参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92.59%	3.70%	0.00%	3.70%	子どもが慕っていた職員が退職されたため、少し不安に思っている。	専門職も在籍しているため、専門性のある支援を心掛けています。継続して職員のスキルアップに努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		児童生徒や保護者のニーズに沿い、利用者に寄り添った計画の作成をして参ります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		児童生徒や保護者のニーズに沿い、利用者に寄り添った計画の作成をして参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.29%	0%	0%	3.70%		今後も継続してアセスメントに基づき必要な項目設定を行い、具体的な支援内容を記載し、よりわかりやすくお伝えできるよう努めて参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88.88%	7.40%	0%	3.70%	デイサービスに通所してから落ち着く時間が増えたように感じる。	今後も継続して適切な支援の実施を行うよう努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81.48%	7.40%	0%	11.11%		今後も日替わりで活動プログラムが固定しない構成を継続して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	44.44%	18.51%	11.11%	29.62%	今後ぜひ行ってほしい。	現在は検討しておりませんが、必要な際は検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	説明が分かりやすかった。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		計画支援内容が保護者や利用者様によりわかりやすくイメージしやすい説明を心がけ、説明が不十分とならないよう今まで以上に丁寧な説明を心がけます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	48.14%	18.51%	3.70%	25.92%		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	85.18%	14.81%	0%	0%	モニタリング以外の直接の会話や報告はない。サービス提供記録やLINEでの報告を受けています。	今後も児童生徒や保護者のニーズに沿い、利用者に寄り添いながら療育に努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92.59%	3.70%	3.70%	0.00%		計画支援内容が保護者や利用者様によりわかりやすくイメージしやすい説明を心がけ、説明が不十分とならないよう今まで以上に丁寧な説明を心がけます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.00%	0%	0%	0%		児童生徒や保護者のニーズに沿い、利用者に寄り添った支援を行って参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	44.44%	18.51%	14.81%	25.92%	今後ぜひ行ってほしい	現状父母の会や保護者会の開催については予定しておりません。必要に応じて検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88.88%	7.40%	0%	3.70%		児童生徒や保護者からの相談やお問い合わせに対し、気持ちに寄り添った対応を引き続き行って参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96.29%	0%	0%	3.70%		児童生徒や保護者からの相談やお問い合わせに対し、気持ちに寄り添った対応を引き続き行って参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88.88%	7.40%	0%	3.70%		引き続き、電子媒体を使用した行事予定の発信を行って参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.29%	0%	0%	3.70%		入職時に個人情報保護法の研修を行い、また定期的に個人情報保護にかかわる研修及び周知徹底を引き続き行います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	66.66%	14.81%	18.51%	0%		訓練は実施されているが、マニュアルが周知されていることはない為、ぜひ知りたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62.96%	14.81%	0%	22.22%		各マニュアル策定及び規定に準じた訓練を行い、マニュアルは面談室にいつでも閲覧できるよう設置しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77.77%	7.40%	0%	14.81%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77.77%	7.40%	0%	14.81%		今後も事故発生時については、速やかに状況説明のための連絡を行って参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	96.29%	0%	0%	3.70%		今後も安心して通所できるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	92.59%	3.70%	0%	3.70%		今後も通所を楽しみにしていただけるようプログラムを固定化せず、わくわく感を持っていただけるようなプログラムを策定して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	88.88%	11.11%	0%	0%		モニタリング直後は気にかけて計画に沿った対応がみられるが、少し経過すると疎かになっているように感じる。一人ひとりにあった支援を今後も提供し、皆が満足していただけるようスタッフ一同邁進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスかみふうせんディオ		2026年 2月 1日				
	チェック項目	公表日		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	施設基準規定以上の平米数で対応しているため、圧迫感のないスペース提供を行っている。	さらなる改善が出来るよう努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	施設基準規定にのっとり職員配置を行っている。専門職も在籍しているため、専門的な療育の提供も行えている。	さらなる改善が出来るよう努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ひらがなでの掲示や、毎日の流れもボードで可視化しており、いつでも確認ができるように設定している	さらなる改善が出来るよう努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	随時喚気・クリンネスを適宜活用している。	さらなる改善が出来るよう努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別の学習机を用意し、必要に応じて活用している。	さらなる改善が出来るよう努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々のミーティングのなかで業務改善のための立案や振り返りを行っている。	さらなる改善が出来るよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	当社ホームページ内に掲示しており、閲覧可能になっている。	保護者や利用者からの意見をもとに、利用しやすい環境づくりを構築していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日ミーティングを行っているため、その場で情報共有をしている。	従来通り継続して業務改善に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に第三者からの評価をいただき、業務改善や職員の資質向上に努めている。	従来通り継続して業務改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に第三者からの研修を受講し、業務改善や職員の資質向上に努めている。	従来通り継続し、職員のさらなる資質向上に努める。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成しており、当社ホームページ内に掲示しており、閲覧可能になっている。	公表しているものを定期的に見直しを実施し、向上に努めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	送迎時や電話連絡等で情報を得たのち、適宜計画に反映させている。	今後も保護者と連携を取り、放課後等デイサービス計画の向上に努める。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々のミーティングのなかで情報を共有・検討している。	日々のミーティングを従来通り継続して行い、こどもの最善の利益を考慮した検討に努めていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々のミーティングのなかで情報を共有・検討している。	従来通り計画に沿った支援を提供し、より良い療育を務めていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	電子ツールであるHUGを用いて、日々の行動観察記録を共有している。	日々の行動観察を行った際、職員間での共有や保護者への情報提供を適宜行いながら、今後もより良い療育を提供していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	従来通り計画に沿った支援を提供し、より良い療育を務めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	日々のミーティングのなかで情報を共有・検討している。	従来通り継続してチームでの立案に努める。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節や行事をプログラムに反映している。 固定されないように工夫が出来ている。	従来通り継続して工夫に努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	利用者に合わせた時間で、個別活動・集団活動の時間を組み合わせることができている	従来通り継続して支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日ミーティングを行っているため、その場で共有している。	従来通り継続して支援を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	毎日ミーティングを行っているため、その場で共有している。	従来通り継続して支援を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	電子ツールであるHUGを用いて、保護者に様子を共有している。	現状通り、日々保護者への報告を怠らず、支援の検証および改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者と相談の上、計画書の見直しの必要があれば適宜見直しを行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	地域の商店や公共施設での体験活動も定期的に行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	毎日トークエコノミーを使用した商品交換のシステムを活用し、自己決定のできる支援を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	状況に応じて、保育士や公認心理師などの専門職が参画するようにしている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	情報共有が必要な場合は、保護者や相談支援事業所と連携し、各機関から情報提供および共有を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校送迎時に随時教員と直接やりとりを行っている	従来通り継続して支援を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	保護者より要請があった際には行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	現在移行例はないが、情報提供のための情報精査を適宜行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	リモートでの研修を受講する機会がある。	従来通り継続して支援を行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	現在は行っていない。	従来通り継続して支援を行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	参加には至っていないが、協議開催の情報があれば随時参加していく。	従来通り継続して支援を行っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電子ツールであるHUGを用いて、保護者に様子を共有している。また、送迎時に口頭での情報共有を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	現在、研修の機会を設けられていない。モニタリング時に情報を共有し、適宜助言を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約の際に、書面を通して丁寧に説明を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	家族の意向確認を適宜行えるよう、要望に応じて家族支援、送迎の際に提案を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	丁寧に説明を行い、保護者に確認の同意を得る際にサインをいただくようにしている。	従来通り継続して支援を行っていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談を受けた際、職員で話し合いをし改善に努めることができています。必要に応じて面談の機会も設けている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	夏祭りにおいて、保護者やきょうだいを招き交流の機会を設けた。	夏祭りなど行事イベント開催時に保護者が交流できる機会を継続していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	適宜対応を行い、自社内で判断できない際には市の障害福祉課に助言を求めながら迅速に対応を行っている。	従来通り苦情等が発生した場合は迅速かつ適切に対応を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムの定期更新や、LINEを活用した次月の予定表の告知を行っている。	従来通り電子媒体を使用した行事予定の発信を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	職員には入社時、個人情報保護についての研修を行っている。	従来通り継続して個人情報保護に努めていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードを活用して配慮できる環境設定を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	現在、そのような行事を行っていない。	必要に応じて検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアル策定及び、規定に準じた訓練を行っている。マニュアルについては、面談室にいつでも閲覧できるよう設置している。	従来通り継続してマニュアル管理及び訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BPCマニュアル策定及び、規定に準じた訓練を行っている。マニュアルについては、面談室にいつでも閲覧できるよう設置している。	従来通り継続してマニュアル管理及び訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	サポートブックを保護者に記入してもらっており、全利用者の状況を提示していただいている。	従来通り継続してサポートブックによる状況確認を行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	サポートブックを保護者に記入してもらっており、全利用者の状況を提示していただいている。	従来通り継続してサポートブックによる状況確認を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画策定及び、規定に準じた訓練を行っている。	従来通り継続してマニュアル管理及び訓練を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約の際に丁寧に説明を行っている。またいつでも閲覧可能な資料を面談室に設置している。	従来通り継続して行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	日々ヒヤリハットが提出できるよう、またミーティング時に発表する機会を随時設けている。	従来通り継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年間スケジュールを策定し、研修スケジュール設定を行い適切な対応を行えるようスキルアップできる環境を構築している。	従来通り継続して支援を行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	適宜対応を行い、自社内で判断できない際には市の障害福祉課に助言を求めながら迅速に対応を行っている。	従来通り継続して支援を行っていく。	